

上位 10 校中 9 校は米国大学 (3 月 23 日)

世界知的所有権機関 (World Intellectual Property Organization : WIPO) は 3 月 19 日、2014 年に国際特許を出願した組織に関する報告「2014 年の特許出願組織結果と 2015 年のプログラム・ハイライト (Results of the Organization in 2014 and Program Highlights for 2015)」を発表した。これによると、中国及び米国の主要電気通信会社が出願の大半を占め、特許出願件数上位 50 位以内に入った組織の中で、大学機関は第 47 位に入ったカリフォルニア大学 (University of California、出願数 413 件) 1 校のみであった。一方、特許協力条約 (Patent Cooperation Treaty : PCT) の下で特許出願した世界の教育機関では、特許出願件数上位 10 校のうち、1 位から 9 位まで米国大学が占めており、米国大学の形勢が不利になりつつあるとの懸念を払しょくする結果となった。但し、11 位から 20 位のうち 6 校は米国以外の大学で、特許出願件数の増加率は米国大学を上回る傾向が見られるという。なお、世界の教育機関による特許出願件数上位 20 位以内にランクされた日本の大学は、京都大学 (同率 13 位、81 件) と東京大学 (16 位、79 件) の 2 校であった。

本報告に関するプレスリリースは、

<http://www.wipo.int/pressroom/en/articles/2015/article_0004.html>から閲覧可能。

また、特許出願組織の詳細リストは、

<http://www.wipo.int/export/sites/www/pressroom/en/documents/pr_2015_774_annexes.pdf#page=3>からダウンロード可能。

Inside Higher ED, Global Patent Leaders

<https://www.insidehighered.com/news/2015/03/23/us-universities-dominate-international-patents>